

縄文 DOHNAN プロジェクト (函館市)

「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界文化遺産登録おめでとうございます！関係者の皆様の長年のご努力により、道南の大地に最も長い時代を築いた「縄文(JOMON)の遺産」が人類共通の財産として認められ、大変嬉しい限りです。

私達は2019年から産学官民の有志の団体として、「縄文を楽しむ」をモットーに、地域の皆様に親しみを感じていただける活動を進めてきました。これからも「縄文の心」をより多くの地域



の皆様と共有し、道南地域の発展に繋げるための取組を展開していきたいと思ひます。

◀活動風景

キウス周堤墓群を守り活かす会 (千歳市)

私たち「キウス周堤墓群を守り活かす会」(通称キウスの会)という市民活動団体は、縄文遺跡群世界遺産登録に向けて市民活動を続けてきました。

これまで、勉強会をはじめフォーラムやイベントへの参加、パネルでの縄文時代PR、子ども教室での縄文手ぬぐい等の作成といった活動をし、2013年から臨んできた国内推薦が何度も見送られるなど世界遺産登録決定までの道のりは長いものでした。



2021年7月の登録決定を受けて、「ほっとした・直にうれしかった」という気持ちです。今後も、縄文時代の歴史的特徴を正しく伝え、教育や健康に活用できるよう活動をしていきたいと思ひます。

◀大江晃己 会長

アプタフレナイの会 (洞爺湖町)

季刊誌「北の縄文」創刊20号、おめでとうございます。また、世界文化遺産に縄文遺跡群の登録が決定されたことは、町民の立場で、とてもうれしく、そして今まで地道な活動をしてきたことがやっと実ったと感じています。

これからも地域の人達の縄文に対する関心・意欲をどう盛り上げるのか、そのために私たちのサークルでなにができるのかを考えながら、仲間と力を合わせて、活動していきたいと思ひます。



◀神馬久夫 会長

北の縄文 CLUB (函館市)

当会は1998年の発足以来、豊かな自然と共に生きた縄文の人々の精神と文化を学び、北の縄文文化を広く普及することを目的として活動を続けています。長年にわたり目指してきた世界遺産登録がやっと実現できて、とても嬉しい限りです。おめでとうございます！！

世界遺産になったことで、縄文の人々の知恵とものづくりの技術力の高さを多くの人に知ってもらいたいと思ひます。大船遺跡や垣ノ島遺跡では、豊かな自然環境の中で縄文人が暮らしていたことをじかに感じることができるので、是非見学に来てください。



◀大宮トシ子 会長

オコンシベの会 (伊達市)

史跡北黄金貝塚のボランティアガイド団体である当会は、北黄金貝塚が史跡公園としてオープンした2001年に発足し、今年で20周年の節目を迎えました。こうした記念すべき年に、北黄金貝塚をはじめとする「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界遺産に登録されたことを大変嬉しく思ひます。

オコンシベの会では、これまで道内の修学旅行生を中心として、毎年1万人ほどのお客様にガイドをしてきました。世界遺産登録後は、道内だけでなく国内外から多くの注目が集まることと思ひます。ボランティアガイド一同、心を込めてご案内しますので、皆様ぜひ北黄金貝塚にお越しください。



◀活動風景

道南縄文文化推進協議会 (函館市)

北海道・北東北の縄文遺跡群が世界文化遺産に登録されたことを、とても嬉しく思ひ、「世界の宝」として認められたことを誇りに思ひます。当会は、55社の経済団体・企業と1,109名の賛助会員で構成され、これまで道南縄文応援大使の任命や駅・空港等でのパネル設置、地元大学生とコラボした横断幕の掲出等地域の機運を盛り上げる活動に邁進してきました。

今後は世界遺産登録を新たなスタートとしてとらえ、訪れる人に感動を与えられるような世界遺産を目指してまいります。



◀藤岡みなみさんら道南縄文応援大使と境会長

道内構成資産の  
ガイド施設をご紹介します

函館市縄文文化交流センター



施設からのメッセージ

「世界遺産登録」おめでとうございます。

北の縄文道民会議関係者の皆様のご長年のご労苦の賜物と、心よりお慶び申し上げます。

この度、世界遺産となった垣ノ島遺跡は、函館市縄文文化交流センターに隣接し、縄文時代早期から後期の集落跡や盛土遺構、お墓からは子どもの足形を押しした足形付土版が出土しました。また、大船遺跡は、縄文時代中期の集落跡で、約110軒の竪穴住居跡や、クリの実やマグロの骨など縄文の食がうかがえる発見がありました。国宝「中空土偶」をはじめ、縄文文化を深く学べる当館と併せて見学し、縄文を感じていただければと思ひます。

住所：〒041-1613 函館市白尻町 551-1  
電話：0138-25-2030

北黄金貝塚情報センター



施設からのメッセージ

北黄金貝塚は広々とした史跡公園として公開されています。園内には、出土品を展示している情報センターや、復元された貝塚、竪穴住居、縄文時代の風景そのままの水場遺構があり、当時の集落の様子を知ることができます。北黄金貝塚公園は、人工物が極力見えないようにというコンセプトで整備されました。そのため、貝塚のある丘の上に立つと、まるで縄文時代にタイムスリップしたかのような雰囲気を感じることができます。

史跡北黄金貝塚公園は、季節や天気あるいは訪れた人のその時々のお気持ちによって様々な表情を見せてくれます。是非、何度も足をお運びいただき、あなただけのお気に入りのスポットを探してみてください。

住所：〒059-0272 伊達市北黄金町 75 番地  
電話：0142-24-2122

千歳市教育委員会埋蔵文化財センター



施設からのメッセージ

キウス周堤墓群は縄文時代後期後葉(今から約3200年前)の広域な集団墓地群です。周堤墓という環状の土手(周堤)の内側のくぼみに複数の土坑墓を設ける特異な墓地遺構が9基現存しています。他の遺跡に例を見ない規模の大型周堤墓が集中しており、全体規模が広大な墓地の集合体形成し、江戸時代の火山灰に覆われながらも、地上にその特徴的な姿を現している、国内でも希有な遺跡です。当センターでは、キウス周堤墓群を含む市内の遺跡から発掘された土器や石器などの文化財を展示しており、縄文時代を中心とした千歳の文化と歴史をわかりやすく学ぶことができます。世界遺産登録をきっかけに皆様の来訪を心よりお待ちしております。

住所：〒066-0001 千歳市長都 42-1  
電話：0123-24-4210

入江・高砂貝塚館



施設からのメッセージ

「北の縄文」創刊20号、おめでとうございます。また、「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界遺産に登録が決定したことは大変うれしく、気の引き締まる思いです。洞爺湖町からは入江貝塚・高砂貝塚が構成資産として登録されました。入江貝塚は縄文時代前期から後期に至る貝塚と住居の痕跡が認められる遺跡で、高砂貝塚は縄文時代後期・晩期の貝塚を中心とした遺跡です。どちらの貝塚からも、その担い手となった縄文人の埋葬人骨が発見されており、当時の生活や縄文人の形質を知ることができる貴重な遺跡です。入江・高砂貝塚館では2つの貝塚から発見された土器や石器のほか、漁撈用の骨角器など、様々な出土品を展示しています。皆様のご来館をお待ちしております。

住所：〒049-5605 虻田郡洞爺湖町高砂町 44  
電話：0142-76-5802



釧路縄文の会 副会長  
佐藤祥博 氏

北海道・北東北の縄文遺跡群の世界文化遺産登録を寿ぐ

「我が北海道には本州のような歴史がない」と思い込んで生きてきた人生。開拓民によって拓かれた新しい天地と言えども聞こえも良いが、どこことなく寂しさを感じていたのもまた本音でありました。

今般、「北海道・北東北の縄文遺跡群」として世界文化遺産に登録されることが決定するにあたって、これまで抱いてきた感傷が吹き飛ばすような晴れがましい気持ちで一杯です。きょうび、人類が渴望してやまない SDGs、共存・共栄を画に書いたような万年単位の人間の営みやその精神性が北海道・北東北に息づいていた事実として広く世界に示されるという非常に画期的な出来事と言えそうです。

世界文化遺産登録までの道のりを考える時、縄文文化が内包していた今日的価値を見出し、磨き上げ、理解と共感を押し広げ、仲間を増やし連帯し、そして北海道・北東北に住まう人々が自らの祖先の営為を脳裏に浮かべ誇りを持つ、といったような作用が働いていたものと想像します。



この世界的プロジェクトを構想し、実現に向かって動かされてきた関係各位の情熱と労苦に心からの敬意を抱くものです。

凸版印刷株式会社東日本事業本部北海道事業部  
北海道 TIC 部シニアクリエイター  
小杉啓文 氏

「北海道・北東北の縄文遺跡群」世界文化遺産への登録おめでとうございます。世界遺産登録に向けての道のりは大変だったと思うだけに、このニュースによって、関係者の皆様がたくさんの喜びを感じられたかと思えます。

私が勤めております凸版印刷は本社文化事業推進本部を中心に、デジタルアーカイブによる文化財財活用事業を推進しております。「トッパン VR」は国内外 50 作品以上の文化財コンテンツがあります。その作品の中で、中空土偶をはじめとする縄文コンテンツを大人から子供までわかりやすく VR で再現しております。

平成 30 年 2 月に開催された「縄文雪まつり」では、土偶 VR をつけた講演を開催。この活動がきっかけで北の縄文道民会議の皆様とのご縁ができました。

私の仕事で取り組んでおります「文化財×観光×まちづくり×教育」を縄文文化と掛け合わせて、道内外・海外の皆様にも北の縄文の魅力発信のお手伝いをさせていただきます。

新型コロナウイルス感染など何かと暗いニュースが多い中、世界遺産登録の明るいニュースは私にとっても大変喜ばしいものでした。今後も、「北海道・北東北の縄文遺跡群」を応援しております。



アイ・エス・ケー合同会社 代表  
渡邊法子 氏

北海道・北東北の縄文遺跡群が、世界遺産登録され、心から嬉しく思います。東京で開催される決起大会・フォーラムに参加させて頂く度に、この日を心待ちにしてきました。誠にありがとうございます。

今から 20 年ほど前に NHK スペシャル「イネ、知られざる 1 万年の旅」で紹介された縄文人の暮らしに衝撃を受けました。縄文人は漁労、狩猟、採集による食文化を形成していたようです。自然との調和、平和な暮らしを維持し、豊かな自然の恵みで安定した食生活に満足していたのだと思います。縄文時代に生きた人々が生物多様性を体現し、豊かに生きるために協働して生きていた事を知って、心から感動しました。

複雑化する社会に生きる現代人が縄文文化に触れることで、SDG's 等の地球規模で取り組む活動においても、価値ある知見を発信する源となり得るものと思います。今後の取組とシナジー効果を、心から期待しています。



←フォーラムの様子(東京)

株式会社アトリエ・モリヒコ 取締役  
中井由美 氏

一年の半分以上を自然の中で過ごしている。道内の様々の湖川へ、ネイティブトラウトに会うために。魚がルアーを捕えると、細いラインを伝い生命力を感じ、胸が高鳴る。

水の中のトラウトは芸術的だ。私の行く場所は人の気配のない。鹿道を歩きカヌーで川を下る。着いた先には太古の昔から変わらない大自然が広がる。自然は強く美しく完璧。縄文に興味を持ち更に輝きが増した。きっかけは『縄文まつり』。



CUTE な中空土偶の茅空、土器の縄模様、先生の説明を聴きながら見る展示品に縄文人の息遣いを感じ魅了された。それから、自然の中に遥か昔、この場所にいたであろう縄文人に思いを馳せるようになった。白滝の河原で黒曜石を見つけたときはとても興奮した。時空を超えて同じ大地に生きるロマンを感じて・・・さあ、今日もまたロマンを感じに出かけよう。北海道・北東北の縄文遺跡群世界遺産を誇らしく思います。お祝いに私どものレストラン DAFNE では縄文カレーを作りました。食で縄文を感じにぜひおいでください。

総合商研「JP01 Vol.27」に掲載された座談会の様子を一部お届けします。縄文に魅せられた 5 人が、自身の縄文愛を語り尽くしました。

縄文文化に魅せられて。 —わたしにとっての「縄文」—



北海道中央バス  
戎谷 侑男 氏

ドニワ部  
種田 梓 氏

札幌国際大学  
越田 賢一郎 氏

縄文女子会  
甲谷 恵 氏

縄文太鼓奏者  
茂呂 剛伸 氏

北海道中央バス 観光事業推進本部 副部長 戎谷 侑男  
私は本業（旅行会社）の立場から、道内各地の縄文遺跡を巡り、たくさんの方に魅力を伝えるための「縄文旅」を実施。旅の道中も、各地の産業や歴史など予備知識を持って現地をご案内し、ご好評いただいている。世界遺産「縄文」は、今後さらにブランド力が強くなる。遺跡ガイドの教育制度を充実させ、より縄文の魅力伝えていきたい。

縄文女子会 甲谷 恵  
遺跡というより、今や「縄文人」が大好き。自然を大切に振る舞いや美的センス、周堤墓のような大規模なものを協力して作り上げるなど。前時代ではなく、私たちの先を行く、目指すべき人々という感じ。勉強すると縄文人の凄さを実感する。当時の食生活を基に、カレーや鍋など創作料理を提供するお店も出てきている。縄文スイーツの話もあり、とてもワクワクしている。

札幌国際大学縄文世界遺産研究室 室長 越田 賢一郎  
世界遺産になった遺跡だけが優れているのではなく、今般、世界に認められるほど、縄文文化が素晴らしいということを広げていくことが大事。全道には様々な縄文遺跡があり、身近にある縄文が大事なものだという意識を持ってもらえたら。自分が好きだという感覚、縄文に出会った一人一人の驚きをまずは大事にしていきたい。



ドニワ部代表 種田 梓  
「土偶や埴輪の形がおもしろいな」というところから出発して、現在は部員一九〇人を抱える大人の部活になった。体験してみることがとても大事で、缶バッジやブローチなどのグッズを所有するだけでなく、製作を通じて好きになってもらいたいという思いが強い。ワークシヨップも開催しているので身近な人にもドニワの輪を広げてみては。

縄文太鼓奏者 茂呂 剛伸  
世界文化遺産登録となり、いろんな方から「面白い話題だね」と言っていたら嬉しい。コロナ禍で空いた時間、土器づくりに熱中。自分たちの郷土の文様を想像して実際に土器に縄目をつけていくと、意外と難しく、縄文人はすごいなと実感。体験することで縄文人との距離が近くなる。土器づくりに限らず、縄文を楽しんでいる姿を見せることが一番だと思う。